

オイルレベルによる性能変化について

オイルの片寄りやオイルを沢山入れることで補えますが、オイルを沢山入れることで、クランクシャフトがオイルを叩いてしまい大きなフリクションが発生してしまいます。(グラフ参照)
オイルパンバツフルを使うことでサーキット走行やワインディングでもオイルレベルを適正值でエンジンを守り、最高のエンジン性能を確保できます。

※性能グラフは当社ベンチにおける性能差であり、エンジン自体にはオイルの片寄る状況ではありません。

実際オイルを多めに入れ、サーキット走行などオイルの片寄る状況ではこのグラフ以上の性能差として現われているはずですが。

